



ファイトセブン・シンポジウム開催しました！

先日(7/30)、ファイトセブン5周年記念シンポジウムを当市のシビックセンターで開催しました。北関東・福島にある7つの動物園水族館の園館長が一堂に会し、連携事業や各園館の現状、今後の展開についてパネルディスカッション形式で発表しました。また、基調講演では日本の動物収集の問題や展望について(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会委員長の佐藤さんからお話を頂いたほか、動物鳴きまね芸で有名な演芸家の江戸家小猫さんをお招きし、動物鳴きまねを取り入れた動物園水族館との向き合い方を講演して頂きました。それぞれ内容が濃く、持ち時間をかなりオーバーしながら進めていったため、お客様からの質問コーナーにほとんど時間がとれなくなってしまったのが少し悔やまれますが、それだけ密度の濃い時間であったと言えます。



《荒井園長・発起人挨拶》



《主催者挨拶》



《佐藤生物多様性委員長講演》



《開会前打合せ》



《小猫さんものまね芸講演》



《会場》

当初は、内容が内容だけにどれほどの参加が見込めるか結構心配でしたが、フタを開けると約100名の参加があり、とりあえずはホッとしているところです。シンポジウムの後は、かみね動物園へのツアーが組まれ、参加者は思い思いの楽しみ方をされていました。また、自由参加による会費制交流会では約半数50名もの参加があり、一般の方も含め大いに議論しながらお互い刺激を受け合い、大変盛り上がりました。



《パネルディスカッション》



《抱負を漢字一文字で》

連携事業は、北関東道が2011年に開通したことを受け、北関東にある協会傘下の動物園水族館が連携して集客しようと企画されましたが、その直後東日本大震災が発生し、一時は事業の先行きが心配されました。しかし逆にそういう時だからこそ連携が必要と事業続行を断行、翌年からは、津波により大きな被害を受けたアクアマリンふくしまさんを加え、北関東・福島7園館によるクイズラリーやキャンペーン活動、移動動物園（水族館）などを行っています。

この連携事業は、各園館の集客力を高める狙いがあるのはもちろんですが、それぞれに特徴のある各園館を巡ることでお客様の視野が広がり、動物に対する意識も高まる効果もあると思います。うちにはない何かがお隣にはあるわけです。選択肢が広がり目が肥え、そうしたお客様を更に満足させるためにまた各園館は事業の充実拡大に取り組むことができる、というわけです。このシンポジウムを契機としてますます北関東・福島の動物園水族館が発展できれば主催したものとしては望外の喜びです。



《移動水族館》



《盛り上がった交流会》

企画運営にご尽力いただいた江戸家小猫さまを始め各園館長様、移動水族館を提供いただいたアクアマリンふくしまさん、そしてご参加頂いた園館関係者や学生さん、一般の方々など、たくさんの皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

2016年8月3日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)